

令和 4 年度
公益財団法人 新日本宗教団体連合会
事業報告書

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日

目 次

◆概況	1
◆公益事業	1
◆管理部門	8
◆総支部	12
・北海道	12
・奥 羽	12
・東 北	13
・北関東	14
・首都圏	14
・北 陸	15
・中 部	16
・近 畿	16
・中 国	17
・四 国	18
・九 州	18

公益財団法人 新日本宗教団体連合会

令和4年度事業報告

概 況

令和3（2021）年10月17日、新宗連は結成70周年を迎えた。新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）という未曾有の危機に直面している今、新しい宗教の役割が求められており、宗教者がこの現状にどう立ち向かうかが益々重要になっていた。

このような時にあたり、あらためて新宗連の原点と歴史をふりかえるとともに、「信教の自由を守ろう」「信仰心を広めよう」「宗教協力を進めよう」「世界の平和に貢献しよう」という4つのスローガンの意義をかみしめ、新宗連に参画する一人ひとりが自覚、実践した。

そして、新宗連の礎を築き、善導に尽力した先師先達の意味を継ぎ、『定款』に掲げる「目的」「事業」の遂行に務めた。

○定款 第3条 目的

「この法人は、信教の自由の精神を高揚し、宗教団体の公益性を支援することにより、豊かな人間性の涵養とより良い社会の形成に寄与し、もって世界平和の実現に貢献する」

○定款 第4条 事業

「信教の自由の尊重及び擁護、宗教団体の宗教活動の推進、宗教団体相互の協力による、より良い社会形成の推進」

【重点課題】

- (1) 基本的人権の根幹である「信教の自由」を堅持していくため、あらためてその意義を学び、自覚を深めた。
- (2) 一人ひとりが「信仰心」の醸成に努めることにより、信仰の尊さを広め、宗教心と信仰心が尊重される社会づくりに貢献した。
- (3) 「すべてのいのちを尊ぶ世界」ー「世界平和」という共通の目標に向かい、加盟教団が相互に協力、啓発して、社会浄化に努め、「宗教協力」の理念を強化した。
- (4) 緊迫する国際情勢や地球環境問題を注視し、新宗連として貢献できる具体的活動について研究を進めた。
- (5) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により求められている新しい生活様式と、宗教者、宗教教団の役割を探求した。

公益事業

宗教団体が公益活動を自由かつ円滑に行えるよう、信教の自由の尊重と擁護、宗教団体個々の利益を超えた青少年の健全な育成及び豊かな人間性の涵養、不当な差別又は偏見の防止等を通して、より良い社会形成の推進に関する調査研究及び普及啓発活動を行った。

本年は、結成70周年記念事業の最終年を迎え、新宗連のあゆみをふりかえる（内省する）とともに、これからの新宗連の役割を探求した。

◆講座及びセミナー等の開催

(1) 第34回教団人セミナー

日 程	令和5年3月8日
会 場	ホテル日航大阪（大阪府大阪市）／オンライン
テ マ	私にとっての新宗連とは～未来へとつないでいくものは何か
内 容	新宗連活動の原動力である出会い、ご縁、それらを基盤とした対話、交流、研

鑽、結束を再確認し、それぞれの新宗連に対する思いや何を未来につないでいくかについて語り合い、探求し、考える機会とした。

参加人数 21人

◆機関紙・インターネット等による広報

- (1) 「新宗教新聞」の発行（年6回）
（令和4年度、第1面の主な記事）
 - 4月号 ウクライナ情勢早急な和平祈る
 - 6月号 第32期第1回理事会を開催 新役員体制を決定
 - 8月号 第57回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典（8.14式典）」
 - 10月号 新宗連結成70周年記念事業を展開
 - 新年号 理事長年頭所感「人心救済や社会浄化 歴史を紡ぐ」
 - 3月号 新宗連結成70周年記念事業総括式典を開催
- (2) 新宗連ホームページの定期更新
- (3) 新宗教新聞 WEB 版「Headline」の定期更新

◆地域に根ざしたより良い社会の形成に向けた活動

新型コロナ禍により活動が制限される中、自粛により活動を休止した総支部、協議会もあったが、規模の縮小やオンラインを活用し、より良い社会の形成に向け対応した。
※詳細は P.12～P.19 を参照。

◆青少年育成に関する活動

青少年の健全育成、信仰心の醸成を目的とし、新日本宗教青年会連盟（新宗連青年会）を通して、「8.14 式典」「ユースフォーラム」「青少年育成セミナー」等の各種事業を実施した。

- (1) 第 57 回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典（8.14 式典）」
 - ※新日本宗教青年会関東連盟を中心に運営
 - 日 程 令和 4 年 8 月 14 日
 - 会 場 国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑（東京都千代田区）
 - 式 次 第 主催者あいさつ：宮本泰克／新宗連青年会委員長
教団別礼拝（各教団代表者）
平和へのメッセージ：加盟教団青年代表者
平和の祈り（黙祷）
新宗連代表あいさつ：石倉寿一／新宗連理事長
 - 参 列 者 約 50 人
 - ※ライブ配信を通しての参加を呼びかけ、2,000 人以上が視聴・参加した。
 - ※8 月 20 日に解脱会北本御霊地で式典に奉納された千羽鶴のお焚き上げを行った。
- (2) ユースフォーラム 2022
 - 日 程 令和 4 年 7 月 3 日
 - 会 場 宮城県名取市閑上をメイン会場にオンラインとハイブリッド形式
 - メインテーマ 「それでも いまを 生きる - be with you -」
 - 内 容 震災体験の語り、慰霊のバイオリン演奏、グループふりかえり、慰霊式典
 - 参 加 者 約 70 人
- (3) 各種会合の開催
 - 委員会（4 月 24 日、6 月 10 日、8 月 13 日、11 月 26 日、令和 5 年 1 月 27 日）
 - ※うち 4 月と 11 月は拡大委員会として全国 11 連盟の代表者が出席した。
- (4) 地方連盟・県（地区）委員会の活動
 - ※以下、総支部・協議会への参加については省略。

○北海道連盟

- ・ユースフォーラム 2023 準備会議
(11月3日、令和5年1月19日、23日、2月7日、20日、3月23日)
- ・新宗連青年会令和4年度第1回(拡大)委員会、同第4回(拡大)委員会、第11回青少年育成セミナーに参加した。

○奥羽連盟

- ・役員総会(5月1日/6人 オンライン)
- ・役員会・学習会(9月25日/20人 オンライン)
テーマ:「多様性の時代における宗教団体—政治やジェンダー問題を事例に」
講師:武藤亮飛/玉光神社宗教心理学研究所副所長
内容:宗教研究者の武藤氏の発題を受け、グループで意見交換を行った。
- ・第57回「8.14式典」奉納千羽鶴の作成
- ・新宗連青年会令和4年度第1回(拡大)委員会、同第4回(拡大)委員会に参加した。

○東北連盟

- ・ユースフォーラム 2022 の受け入れ(7月3日)
- ・ユースフォーラム 2022 準備会議等
(4月20日、24日、6月12日、25日、26日、30日、7月2日)
※会議はオンライン中心。現地視察、業者打ち合わせ等は一部対面で実施
- ・新宗連青年会令和4年度第1回(拡大)委員会、同第4回(拡大)委員会に参加した。

○北関東連盟

- ・新宗連青年会令和4年度第1回(拡大)委員会、第11回青少年育成セミナーに参加した。

○関東連盟

- ・第57回「8.14式典」の運営協力(8月14日 千鳥ヶ淵戦没者墓苑)
※実行委員会等の開催(5月18日、6月22日、7月23日、8月9日)
- ・役員改選を行った。

○北陸連盟

活動なし

○中部連盟

- ・ピースフォーラム 2022 in 岐阜(9月18日、10月2日)
※いずれもオンライン
テーマ:「“私”と“世界”を元気にしよう」
講師:Wマコト(株式会社ダブルエムコモンズ)
内容:漫才コンビで放送作家の講師が、笑いとコミュニケーションをテーマとした講演とワークショップを行った。
- ・常任委員会
- ・新宗連青年会令和4年度第1回(拡大)委員会、同第4回(拡大)委員会、第11回青少年育成セミナーに参加した。

○近畿連盟

活動再開に向け、役員改選を行った。

○中国連盟

新宗連青年会令和4年度第1回(拡大)委員会、同第4回(拡大)委員会に参加した。

○四国連盟

新宗連青年会令和4年度第4回(拡大)委員会、第11回青少年育成セミナーに参加した。

○九州連盟

- ・青九連ユースフォーラム 2022 in 宮崎(10月2日/44人 オンライン)
テーマ:「すぐ(S)できること(D)がんばるから(G)すばらしい(s)」
内容:SDGsに関する動画を視聴後、クイズ形式で世界の貧困問題やジェンダー、環境問題などについて学びを深めた。
- ・常任委員会(5月1日/9人、6月12日/10人、9月11日/9人、12月4日/8人、

令和 5 年 2 月 19 日／11 人)

※2 月は立正佼成会福岡教会とオンラインのハイブリッド、他はオンラインで開催

- ・新宗連青年会令和 4 年度第 1 回（拡大）委員会、同第 4 回（拡大）委員会に参加した。
- ・第 50 回 原爆殉難者慰霊祭（長崎県宗教者懇話会主催）への参列（8 月 8 日 長崎市原爆落下中心地碑）

内 容：新型コロナ感染拡大前に近い式典内容で実施した。新宗連青年会から崇教眞光、善隣教、立正佼成会の青年約 50 人が会場設営や式典の介添え、平和の灯（献灯）などを行った。献灯は新型コロナウイルス感染拡大後初めての実施であった。

◆調査研究活動

（1）専門委員会による調査研究

「信教の自由」、宗教法人の社会的役割等に関する情報収集と提言案作成を目的とし、下記の通り専門委員会による調査研究を実施した。

○信教の自由委員会

「信教の自由」と政教分離に関する調査研究と情報収集を行った。また 7 月 26 日、自由民主党の小淵優子自民党組織運動本部長に対し岸田文雄内閣総理大臣宛て、立憲民主党の泉健太代表に対し泉代表に宛てた、鈴木裕治委員長名の「靖国神社の政治利用に対する意見書」を提出した。

委員会（4 月 11 日、5 月 30 日、7 月 26 日、11 月 11 日、12 月 12 日、令和 5 年 2 月 21 日）

※新宗連会館／オンライン

※第 32 期第 3 回理事会において「信教の自由特別委員会」設置の決定を受け、令和 5 年 3 月 15 日、第 1 回信教の自由特別委員会を開催し、「法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律」に関する調査研究と情報収集を行った。

○企画委員会

宗教法人が直面する諸問題に関する調査研究と情報収集を行った。「第 34 回教団人セミナー」の詳細について企画立案した。

委員会（5 月 17 日、8 月 22 日、11 月 9 日、12 月 12 日）※いずれもオンライン

○会計委員会

公益法人及び宗教法人会計に関する調査研究を行った。理事会の要請により、令和 4 年度決算書案および令和 5 年度予算原案を作成するとともに、新宗連全体の運営に関わる資産管理を行った。

委員会（5 月 26 日、9 月 13 日、令和 5 年 1 月 31 日）※いずれもオンライン

○政治委員会

宗教団体が直面する政治課題についての調査研究と情報収集を行った。

委員会（5 月 13 日、7 月 27 日、12 月 13 日、令和 5 年 2 月 22 日）

※いずれも新宗連会館／オンライン

○宗教法人研究会

宗教法人と公益性、宗教法人税制、労働法制等について調査研究と情報収集を行った。

幹事会（9 月 6 日、11 月 11 日、令和 5 年 1 月 25 日）※いずれも新宗連会館／オンライン

○同和推進連絡協議会

不当な差別又は偏見の防止及び根絶を目的とした同和問題、人権問題について調査研究を行った。また、対外活動として、部落解放・人権研究所、大阪希望館、「支縁のまちネットワーク」等への支援、協力活動、『同和問題』に取り組む宗教教団連帯会議（「同宗連」）、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議（大宗連）等の活動への参加と協賛を行った。

定例協議会（12 月 23 日 書面表決）

○憲法研究会

「信教の自由」、政教分離原則に抵触する諸問題を中心に憲法改正の動向について調査研究を行った。

研究会（5月13日、7月27日、12月13日、令和5年2月22日）

※いずれも新宗連会館／オンライン

※各回とも政治委員会と合同で行った。

（2）関係団体をとおしての調査研究

この法人の目的達成及び各加盟団体の適正な運営に資する各種情報収集を行い、理事会、評議員会、各種専門委員会への情報提供を行った。

〈＊主な関係団体〉

国際宗教研究所、宗教情報リサーチセンター（RIRC）、現代における宗教の役割研究会（コルモス）、日本宗教学会、宗教倫理学会、宗教法学会、「宗教と社会」学会、教団附置研究所懇話会、政教分離の会、国際ビフレンダーズ東京自殺防止センター、部落解放・人権研究所、『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議（「同宗連」）、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議（大宗連）、支縁のまちネットワーク、大阪希望館、聖マーガレット生涯教育研究所（SMILE）、大阪人権博物館リバティーセンター、宗教者災害支援連絡会（宗援連）

◆「宗教もしもし電話相談室」活動

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を自粛

◆宗教相互の理解と対話の促進

宗教文化の発展とより良い社会の形成を目的とし、各加盟団体間、及び神道・仏教・キリスト教・教派神道・新宗教教団等との相互理解を進め、戦争犠牲者の慰霊をはじめ「国際救援金」による国内外の援助活動など、宗教相互の理解と対話を促進する活動を実施した。

（1）日本宗教連盟への参画

「信教の自由」の尊重と擁護並びにより良い社会形成の推進をはかるため、日本宗教連盟の構成団体として、同連盟の会合及び事業に参画した。

① 理事会（6月6日、12月2日、令和5年3月23日）

② 評議員会（6月28日）

③ 幹事会／宗教文化振興等推進委員会（文化庁宗務課面談ほか小学習会、懇談会等を含む）
（4月14日、20日、7月13日、29日、8月5日、25日、10月20日、26日、11月28日、12月2日、令和5年2月17日、3月15日）

④ 防災減災に関するセミナー（5月18日 増上寺・慈雲閣）

⑤ 不当寄附勧誘防止法説明会（令和5年1月20日 増上寺・慈雲閣）

（2）世界宗教者平和会議（WCRP）との連携

理事会、学習会（オンライン）等へ参加し、交流や連携を深めた。

（3）比叡山宗教サミット 35 周年記念「世界宗教者平和の祈りの集い」への参画

日 程 8月4日

開催地 国立京都国際会館（京都市）、比叡山延暦寺（滋賀県大津市）／オンライン配信

（4）新宗連国際救援金の運用と活用

トルコ・シリア地震に対し、石倉寿一理事長名で談話を発表するとともに、救援金を特定非営利活動法人・AMDAに寄託した。

（5）その他、都府県宗教連盟、宗教懇話会等へ参加した。

◆結成 70 周年記念事業

令和3年度から実施した結成 70 周年記念事業を検討する会議、記念事業を下記の通り行った。

（1）結成 70 周年特別委員会

（5月27日、7月20日、8月29日、9月29日、10月19日、12月22日、令和5年1月24日【円応教本部】、2月14日）※令和5年1月以外、いずれも新宗連会館／オンライン

（2）記念事業

①新宗連役員、加盟教団代表者等による座談会

- ・「新型コロナ禍と宗教者」座談会（5月24日・5人）
- ・「信仰心を広めよう」座談会（9月24日・5人）
- ・「信教の自由」座談会（9月21日・外部有識者、委員等11人）
- ・「青年会歴代委員長」座談会（10月5日・12人）
- ・「世界の平和に貢献しよう」座談会（11月10日・6人）
- ・「宗教協力を進めよう」座談会（11月29日・6人）

②戦争犠牲者、自然災害犠牲者慰霊供養（巡礼団）派遣

- ・太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊供養（4月21日）
場 所：兵庫県姫路市「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔」
参加者：9名（4教団）
- ・阪神淡路大震災犠牲者慰霊供養（4月21日）
場 所：兵庫県神戸市「1.17 希望の灯り」モニュメント
参加者：12名（4教団）
- ・東日本大震災犠牲者慰霊復興祈念岩手県集会（6月25日）
場 所：岩手県釜石市「釜石祈りのパーク」
参加者：約30名（3教団）
- ・第11回東日本大震災物故者慰霊洋上供養（7月8日）
場 所：福島県いわき市江名港
参加者：約30名（2教団）
- ・長崎原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典（10月26日）
場 所：長崎県長崎市「原子爆弾落下中心地碑」
参加者：約40名（5教団）
- ・広島原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典（10月27日）
場 所：広島県広島市「原爆供養塔」
参加者：約30名（7教団）
- ・東日本大震災犠牲者慰霊並びに復興祈願式典（11月7日）
場 所：宮城県石巻市「石巻市震災遺構大川小学校」
参加者：約40名（6教団）
- ・沖縄全戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典（11月21日）
場 所：沖縄県糸満市「国立沖縄戦没者墓苑」
参加者：約20名（6教団）

③リーフレット制作

④記念誌制作（刊行は、令和5年度中）

（3）新宗連結成70周年記念事業総括式典

日 程 令和5年3月9日

会 場 円応教本部／YouTube ライブ配信（加盟教団限定配信）

テ ー マ 今、そして未来につなぐ信仰の力と光

内 容 新宗連が2021（令和3）年10月17日に結成70周年を迎え、令和3、4年度の2年間にわたり記念事業を実施し、その一連の記念事業を総括する式典を挙

式 次 第

- ・開会挨拶／70周年特別委員会 江口陽一委員長
- ・先師先達の追悼－参列者代表による献花－
- ・挨拶／深田充啓名誉会長
- ・来賓祝辞 日本宗教連盟／宍野史生理事長
国際宗教研究所／島蘭進理事長
世界宗教者平和会議日本委員会／戸松義晴理事長
- ・未来への期待／岡田光央顧問
- ・将来計画発表／70周年特別委員会 宮本泰克委員（新宗連青年会委員長）
岡野孝行委員（ 同 副委員長）

- ・ 式辞／石倉寿一理事長
- ・ 平和祈願

◆新宗連青年会結成 60 周年記念事業

(1) 青年会 60 周年記念事業ワーキンググループ (9 月 22 日、9 月 30 日 オンライン)

(2) 第 11 回青少年育成セミナー

日 程 令和 4 年 11 月 27 日

会 場 新宗連会館とオンライン

テ ー マ グリーフケアの現状と課題

講 師 島 蘭進／上智大学グリーフケア研究所 元所長

内 容 グリーフケアの理論的背景と日本における展開、そして近年、グリーフケアが注目されている要因を島蘭氏が詳細に解説。質疑応答では、宗教者の関わりや課題等について議論した。

参 加 者 20 人

(3) 第 10 回沖縄慰霊平和使節団

日 程 令和 5 年 2 月 17 日～19 日

場 所 沖縄県那覇市、糸満市、南城市

内 容 国立沖縄戦没者墓苑、ひめゆりの塔、白梅の塔、小桜の塔ほかで慰霊祭。那覇市歴史博物館、糸数アブチラガマほかを訪問

参 加 者 約 11 人

管理部門

1. 理事会

- 第 31 期第 7 回（6 月 8 日 新宗連会館／オンライン）
 - ・令和 3 年度新宗連事業報告、決算報告について、承認した。
 - ・役員旅費交通費に関する内規（案）について審議し、承認した。
- 第 32 期第 1 回（6 月 27 日 新宗連会館／オンライン）
 - ・第 32 期理事長、常務理事の選任について審議し、承認した。
 - ・第 32 期名誉会長、顧問の選任について審議し、承認した。
 - ・日本宗教者連盟役員等の選任について、承認した。
- 第 32 期第 2 回（10 月 6 日 新宗連会館／オンライン）
 - ・令和 5 年度事業大綱案について審議し、承認した。
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う新宗連全体の運営について審議し、承認した。
 - ・令和 5 年度主要会議・行事予定について、承認した。
- 第 32 期第 3 回（令和 5 年 2 月 10 日 新宗連会館／オンライン）
 - ・令和 5 年度事業計画案・予算案を審議し、承認した。
 - ・宗教法人審議会委員の推薦について、承認した。
 - ・定時評議員会の開催及び、議題について、承認した。
 - ・新宗連将来計画案について、承認した。
 - ・「信教の自由」特別委員会設置について審議し、承認した。

2. 評議員会

- 第 31 期第 3 回（6 月 27 日 新宗連会館／オンライン）
 - ・令和 3 年度新宗連事業報告、決算報告を行い、承認した
 - ・第 32 期役員改選について、22 名の理事、2 名の監事、13 名の評議員を選任した。

3. 監査会

- 令和 4 年度監査会（6 月 1 日 東京都渋谷区／新宗連会館）
 - ・令和 3 年度新宗連事業報告等並びに計算書類及びその附属明細書並びに財産目録に関する監査を行った。

役員等に関する事項

(令和5年3月31日現在)

役 職 役 名	氏 名	就任年月日	常勤・非常勤の区分
名誉会長	深田 充啓	R4.6.27	非常勤
顧問	庭野 日鑛	R4.6.27	〃
同	新井 三知夫	R4.6.27	〃
同	保積 秀信	R4.6.27	〃
同	岡田 泰六	R4.6.27	〃
理事長	石倉 寿一	R4.6.27	〃
常務理事	宮本 恵司	R4.6.27	〃
同	江口 陽一	R4.6.27	〃
同	庭野 光代	R4.6.27	〃
同	力久 道臣	R4.6.27	〃
理 事	田澤 清喜	R4.6.27	〃
同	新井 光興	R4.6.27	〃
同	嘉納 良樹	R4.6.27	〃
同	本山 一博	R4.6.27	〃
同	鉢呂 神龍	R4.6.27	〃
同	田中 庸仁	R4.6.27	〃
同	飯島 法道	R4.6.27	〃
同	深田 恵子	R4.6.27	〃
同	岡野 英夫	R4.6.27	〃
同	保積 志弘	R4.6.27	〃
同	出居 徳久	R4.6.27	〃
同	北浦 幸代	R4.6.27	〃
同	藤原 裕康	R4.6.27	〃
同	佐々木 孝則	R4.6.27	〃
同	中村 史郎	R4.6.27	〃
同	高橋 秀典	R4.6.27	〃
同	和田 めぐみ	R4.6.27	〃
監 事	番重 賢嘉	R4.6.27	〃
同	國富 敬二	R4.6.27	〃

評議員	石川 靖夫	R4.6.27	非常勤
同	眞塩 陽一郎	R4.6.27	〃
同	加納 理孝	R4.6.27	〃
同	保積 敬子	R4.6.27	〃
同	齋藤 賢一郎	R4.6.27	〃
同	榊原 隆三	R4.6.27	〃
同	左藤 滋光	R4.6.27	〃
同	宮坂 保徳	R4.6.27	〃
同	平松 千明	R4.6.27	〃
同	木村 吉宏	R4.6.27	〃
同	仙波 達治	R4.6.27	〃
同	藤井 庸佐	R4.6.27	〃
同	鷹取 義博	R4.6.27	〃
同	佐原 透修	R4.6.27	〃

令和 4 年度事業報告の附属明細書について

令和 4 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

北海道総支部 事業報告書

I. 事業方針

令和3(2021)年10月17日、新宗連は結成70周年を迎えた。新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)という未曾有の危機に直面している今、新しい宗教の役割が求められており、宗教者がこの現状にどう立ち向かうかが益々重要になっていた。

このような時にあたり、あらためて新宗連の原点と歴史をふりかえるとともに、「信教の自由を守ろう」「信仰心を広めよう」「宗教協力を進めよう」「世界の平和に貢献しよう」という4つのスローガンの意義をかみしめ、新宗連に参画する一人ひとりが自覚、実践した。

そして、新宗連の礎を築き、善導に尽力した先師先達の意味を継ぎ、『定款』に掲げる「目的」「事業」の遂行に務めた。(※各総支部共通)

※以下、各協議会役職者が、包括総支部主催の総務会、総会・学習会等に参加したことに関する協議会活動報告は記載を省略(各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

○副会長・事務局長会議(10月26日・4人 松緑神道大和山苦小牧道場、
令和5年3月3日・3人 立正佼成会札幌北教会)

内 容：理事会及び総支部事務局長連絡会の報告

III. 協議会活動

＜旭川地区協議会＞

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

＜渡島・檜山地区協議会＞

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

＜オホーツク地区協議会＞

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

＜釧路地区協議会＞

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

＜道央地区協議会＞

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

＜十勝地区協議会＞

○委員会(7月11日・4人 立正佼成会帯広教会)

内 容：今後の活動について

○帯広緑ヶ丘墓地無縁故者慰霊供養(7月31日・11人 立正佼成会帯広教会)

＜日胆地区協議会＞

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

奥羽総支部 事業報告書

I. 事業方針 (※各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

○総務会(4月30日、令和5年1月15日・各16人 書面表決)

○新宗連結成70周年記念事業・自然災害犠牲者慰霊供養

「東日本大震災犠牲者慰霊復興祈念岩手集会」 ※奥羽総支部、岩手県協議会受け入れ
(6月25日・34人 釜石市釜石祈りのパーク)

内 容：教団別礼拝、献花、体験発表

※以下慰霊供養参加に関する協議会報告は省略

○役職者 3 役会議（令和 5 年 1 月 16 日・3 人 オンライン）

内 容：令和 5 年度の活動について

Ⅲ. 協議会活動

＜青森県協議会＞

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

＜秋田県協議会＞

○委員顔合わせ（令和 5 年 3 月 29 日・12 人 立正佼成会秋田教会）

内 容：各教団人事異動があり、自己紹介等を行った。

＜岩手県協議会＞

○講演会「アメリカ・ワードバーグ大学／寺沢邦彦准教授と岩手県協議会との交流・懇談会」
（7 月 20 日・31 人 立正佼成会花巻教会）

講 師：寺沢邦彦／ワードバーグ大学准教授

内 容：宗教間対話・協力が専門分野の寺沢准教授の講演を聴講し、今後の活動推進の一助とした。

東北総支部 事業報告書

Ⅰ. 事業方針（※各総支部共通）

Ⅱ. 会議及び総支部活動

○総務会（4 月 13 日・11 人 オンライン、10 月 13 日・14 人 福島市コラッセふくしま）

内 容：第 31 期第 6 回理事会決定事項報告、令和 3 年度下半期活動・予算報告、
令和 4 年度活動予定確認（予算）、第 32 期第 2 回理事会決定事項報告、
総支部・協議会の令和 4 年度上半期活動報告、令和 4 年度下半期活動確認

○新宗連結成 70 周年記念事業・自然災害犠牲者慰霊供養

「東日本大震災物故者慰霊洋上供養会」への参加 ※東北総支部、福島県協議会受け入れ

Ⅲ. 協議会活動

＜福島県協議会＞

○福島県宗教団体連絡協議会への参加

・三役・幹事会（4 月 18 日・8 人 立正佼成会福島教会）

内 容：令和 3 年度の事業報告、会計決算、監事報告
令和 4 年度の事業計画、予算書等の確認

・理事会（7 月 13 日・19 人 福島市コラッセふくしま）

内 容：令和 3 年度の事業報告、会計決算、監事報告
令和 4 年度の事業計画、予算書等の確認

○「第 11 回東日本大震災物故者慰霊洋上供養会一復興への祈りー」の受け入れと参加
（7 月 8 日・23 人 いわき市小名浜江名港）

○福島県宗教団体連絡協議会講演会への参加

（令和 5 年 2 月 20 日・46 人 福島市上町クーラクーリアンテ）

テーマ：「東北～この雄々しき異界に生きる」

講 師：玄侑宗久／福聚寺住職・芥川賞受賞小説家・東日本大震災復興構想会議委員

＜宮城県協議会＞

○新宗連結成 70 周年記念事業・自然災害犠牲者慰霊供養

「東日本大震災犠牲者慰霊並びに復興祈願式典」への受け入れと参加

（11 月 7 日・35 人 石巻震災遺構大川小学校）

＜山形県協議会＞

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

北関東総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 総務会（11月9日・16人 立正佼成前橋教会／オンライン、
令和5年3月25日・14人 オンライン）

III. 協議会活動

<茨城県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<群馬県協議会>

- 群馬県宗教団体連合会の活動への参加
 - ・調整会議（10月12日、11月21日・各2人）
 - ・定例理事会（10月17日、令和5年1月19日・各4人）
 - ・群馬県への寄付金受納式（12月21日・1人）

<栃木県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<長野県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<新潟県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

首都圏総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 正副会長・事務局長会議（4月1日、10月3日、令和5年2月8日・各4人 玉光神社）
- 総務会（4月6日・18人、10月25日・19人、令和5年3月13日・14人 オンライン）
- 教化活動懇談会（4月6日、7月21日 オンライン）

発表者：鈴木光彌／阿吽阿教団主管 [4月6日]

出居徳久／修養団捧誠会総裁 [7月21日]

内 容：教団の教義や歴史などについて学び、意見交換などを行った。

※以下同懇談会参加に関する協議会報告は省略

- 総支部・協議会総会・学習会打ち合わせ ※埼玉県協議会受け入れ
（4月15日・2人 立正佼成会本部、6月8日、10月12日・各5人 オンライン）

- 研修会（9月6日・29人 靖国神社）

内 容：戦争の記憶の継承について学んだ

遊就館見学、正式参拝、山口健史／靖国神社宮司との懇談

※以下同研修会参加に関する協議会報告は省略

- 総会・学習会（10月25日・49人 オンライン） ※埼玉県協議会受け入れ
テーマ：「無差別・非暴力の人道支援～難民・避難民の現状と今後の見通し」
講 師：伊勢崎賢治／東京外国語大学大学院教授、難民を助ける会副理事長
内 容：緊迫するウクライナ情勢を踏まえ、難民・避難民の実情を知り、救いの手を差し伸べるために“私たちに何ができるのか”について学んだ。

III. 協議会活動

<神奈川県協議会>

- 正副議長・事務局会議（4月9日・7人 オンライン）

内 容：平和学習会について

- 委員会（4月6日・8人、8月6日・14人、11月30日・11人 オンライン）
内 容：年間計画・平和学習会の検討、理事会・県宗連活動、平和学習会アンケート結果などを報告した。
- 平和学習会グループ分け（6月9日・2人 オンライン）
- 平和学習会リハーサル（6月12日・6人 オンライン）
- 平和学習会問題提起録画（6月13日・3人 オンライン）
- 平和学習会（6月19日・42人 オンライン）
テーマ：「新宗連神奈川県協議会令和4年度平和学習会
ー平和への祈りと足元からの実践へー」
目 的：①戦争犠牲者への慰霊、②世界平和を祈願、③祈りとともに足元から実践
内 容：①5.29 横浜大空襲の映像視聴、②教団別礼拝、③問題提起「有事における宗教者の役割、実践とは」、④グループディスカッション、⑤発表・質疑応答
- 平和学習会実行委員会（令和5年2月5日・8人 オンライン）
内 容：令和5年度平和学習会の概要を検討
- 神奈川県宗教者連盟活動への参加
 - ・ 神奈川戦没者慰霊式典への参列（5月10日・2人 神奈川県立上大岡慰霊堂）
 - ・ 理事会への参加（6月28日・3人、令和5年2月21日・2人 横浜天理ビル）
- <埼玉県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <千葉県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <東京都協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <山梨県協議会>
 - 委員会（6月10日・7人、11月4日・8人、12月22日・8人 オンライン）
 - 環境学習会（6月10日・29人 オンライン）
内 容：SDGs について学んだ。特に、地球温暖化が我々の生活にもたらす異常気象や、生活からどのように二酸化炭素が排出されているか学び、生活の場から何が出来るか考えた。

北陸総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総支部としての活動を自粛

III. 協議会活動

<石川県協議会>

- 石川県宗教連盟活動への参加
 - ・ 正副理事長会議事前打ち合わせ（4月8日・5人 立正佼成会金沢教会）
 - ・ 理事会（4月10日 書面表決）
内 容：令和3年度活動・会計報告と令和4年度活動・予算計画、他
 - ・ 正副理事長会議・懇談会（4月21日・9人 外部会場）
内 容：書面表決を受けて今後の対応を協議。結成75周年を機にこれまでのあり方などを検証し、新たな県宗連のあり方を協議し、会議の後、懇談した。
 - ・ 第1回検証委員会（7月22日・9人 立正佼成会金沢教会）
 - ・ 第2回検証委員会（9月14日・9人 真宗大谷派金沢真宗会館）
 - ・ 第3回検証委員会（10月27日・9人 真宗大谷派金沢真宗会館）

- ・第4回検証委員会（11月9日・10人 立正佼成会金沢教会）
 - ・第5回検証委員会と懇談会（12月6日・7人 外部会場）
 - ・正副理事長会議・懇談会（令和5年2月15日・9人 立正佼成会金沢教会）
 - ・講師派遣（令和5年3月1日 万寿苑、23日 鶴寿苑、28日 千寿閣・各1人）
- ※県宗連の依頼により各老人福祉センター教養講座へ講師1人を派遣し講演を行った。

○委員会（令和5年3月3日・6人 立正佼成会金沢教会）
内 容：県宗連理事の選出、石川県協議会活動報告、確認

<富山県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<福井県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

中部総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

○総務会（7月12日・9人 オンライン、11月12日・17人、令和4年3月14日・21人
立正佼成会名古屋教会／オンライン）

内 容：報告、情報交換、今後の活動について

III. 協議会活動

<愛知県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<岐阜県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<静岡県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<三重県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

近畿総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

○専門委員会（4月26日・14人、7月22日・7人 オンライン）

○総務会（6月16日・15人 オンライン、10月26日・17人、令和5年2月20日・20人
ホテル日航大阪／オンライン）

○総支部総会打ち合わせ（9月15日・8人 新宗連大阪事務所／オンライン）

○総会・学習会（10月26日・17人 ホテル日航大阪／オンライン）

テーマ：「新型コロナ禍で気づいたこと」

内 容：参加教団の代表者が発表し、情報交換

III. 協議会活動

<大阪府協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<京都府協議会>

○祇園祭山鉦引きボランティアへの協力（7月17日、24日・延べ51人） ※青年部主催

○京都府宗教連盟の活動への参加

- ・ 常任委員会（7月26日・5人 立正佼成会京都教会）
- ・ 委員会、総会（10月3日・3人 真言宗総本山教王護国寺）
- ・ 深草墓園慰霊祭への参加
（令和5年3月26日・3人 京都市深草墓園）
- 近畿宗教連盟の活動への参加
 - ・ 常任理事会（7月26日・5人 立正佼成会京都教会）
- 比叡山宗教サミット35周年記念「世界宗教者平和の祈りの集い」への参加
（8月4日 京都国際会館、比叡山延暦寺）
- 代表者会議（9月3日・5人、令和5年1月18日・7人 立正佼成会京都教会）
- <滋賀県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <奈良県協議会>
 - 第19回奈良県宗教者フォーラムへの参加（9月14日・55人 奈良市興福寺）
テーマ：「日本のこころと宗教の役割―神様・仏様の素晴らしさ―」
内 容：世界平和ならびに疫病退散祈願法要
基調講演テーマ：「五重の塔のある風景」講師：森谷英俊／興福寺貫主、
次代を担う方々による感話（春日大社、興福寺、天理教、葛木坐火雷神社、
金峯山寺）を行った。
 - 委員会（令和5年3月20日・5人 立正佼成会奈良教会）
内 容：理事会の報告事項及び令和5年度計画について
- <兵庫県協議会>
 - 兵庫県宗教連盟の役員会への参加（令和5年3月28日・1人）
内 容：令和4年度事業報告・決算報告、令和5年度事業計画・予算、叡智の会について
- <和歌山県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

中国総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 新宗連結成70周年記念事業・戦争犠牲者慰霊供養
 - ・ 「広島原爆犠牲者並びに平和祈願式典」受け入れ準備会議への参加
（10月13日、14日、23日 各2人 オンライン） ※広島県協議会受け入れ
 - ・ 式典への参加（10月27日・30人 広島平和記念公園内原爆供養塔）

III. 協議会活動

- <岡山県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <島根県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <鳥取県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <広島県協議会>
 - 新宗連結成70周年記念事業・戦争犠牲者慰霊供養
「広島原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」の受け入れと参加
（10月27日・30人 広島平和記念公園内原爆供養塔）
- <山口県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

四国総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

○総務会（4月18日・12人、11月7日・11人 オンライン）

※以下総務会参加に関する協議会報告は省略

○事務局長連絡会議（10月19日、令和5年3月12日・各4人 オンライン）

III. 協議会活動

＜愛媛県協議会＞

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

＜香川県協議会＞

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

＜高知県協議会＞

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

＜徳島県協議会＞

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

九州総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

○総務会（4月5日・22人、7月5日・18人、11月8日・20人 オンライン）

○企画委員会

（6月22日・9人 オンライン、10月25日・11人、12月9日・9人、
令和5年3月6日・11人 立正佼成会福岡教会／オンライン）

※以下、企画委員会参加に関する協議会報告は省略

○長崎県宗教者懇話会活動への参加

第50回原爆殉難者慰霊祭への参列（8月8日・4人 長崎市原爆落下中心地碑）

○新宗連結成70周年記念事業・戦争犠牲者慰霊供養

「長崎原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」への参加（10月26日・約40人）

○新宗連結成70周年記念事業・戦争犠牲者慰霊供養

「沖縄全戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」への参加
（11月21日・約20人 国立沖縄戦没者墓苑）

III. 協議会活動

＜大分県協議会＞

○役職者会（12月13日・7人 外部会場）

内 容：新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を自粛したが、役職者でこれからの活動について会議を行った。

＜沖縄県協議会＞

○沖縄県宗教者の会活動への参加

・定例会への参加（4月4日、7月13日、12月15日、令和5年1月14日・各10人
立正佼成会沖縄教会、コレクティブホテル、波上宮）

内 容：第30回祈りと平和の集いについて

・第30回祈りと平和の集いの挨拶依頼（6月8日・2人 沖縄県知事玉城事務所）

・第30回祈りと平和の集いリハーサルへの参加（8月3日・13人 沖縄平和祈念堂）

・第30回祈りと平和の集いへの参列（8月15日・50人 沖縄平和祈念堂）

○新宗連結成70周年記念事業の打ち合わせへの参加 ※沖縄県協議会受け入れ

- (11月14日 沖縄平和記念公園白梅之塔 他)
- 「沖縄全戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」への参加 ※沖縄県協議会受け入れ
 - (11月21日 国立沖縄戦没者墓苑 他)
 - 新宗連青年会第10回沖縄慰霊平和使節団 ※沖縄県協議会受け入れ
 - (令和5年1月28日、2月19日 糸数アブチラガマ)
- <鹿児島県協議会>
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <北九州地区協議会>
- 委員会(4月14日、7月13日、令和5年2月24日・各3人 オンライン
11月10日・7人 立正佼成会小倉教会)
 - 内 容：総務会報告、令和4年度活動計画、近況報告、その他について
- <熊本県協議会>
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <佐賀県協議会>
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <筑後地区協議会>
- 委員会(4月17日・7人 立正佼成会久留米教会)
 - 内 容：総務会報告、役職者名簿作成
- <筑豊地区協議会>
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <長崎県協議会>
- 長崎県宗教者懇話会活動への参加
 - ・定例会、ポスター撮影(5月20日)
 - ・定例会(7月7日)
 - ・第50回原爆殉難者慰霊祭実行委員会(6月16日 鎮西大社諏訪神社)
 - ・第50回原爆殉難者慰霊祭への参列(8月8日・70人 長崎市原爆落下中心地碑)
 - ・反省会・定例会(9月8日 ホテルマルシェ・ド・リッシュ)
 - 新宗連結成70周年記念事業・戦争犠牲者慰霊供養
「長崎原爆犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」の受け入れと参加
(10月26日 長崎市原爆落下中心地碑)
- <福岡地区協議会>
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <宮崎県協議会>
- 「水と緑の森林づくり」県民ボランティアの集いへの参加
(11月3日・30人 サンマリーナ宮崎多目的広場)
 - 内 容：記念式典、森林づくり活動(下草刈り作業)

以 上